

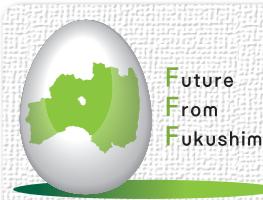


県議会ふくしま

5月臨時会(5/4~5)及び6月定例会の概要(6/23~7/8開催)

第82号

[企画・編集]
福島県議会広報委員会



ふくしまから
はじめよう。

〈広告〉

5月臨時会を開催



▲臨時会での議場採決の様子

5月臨時会が、GW中の5月4日、5日に開催されました。知事から、国が示した新型コロナウイルス感染症緊急経済対策、福島県における感染状況や県内経済への影響を踏まえ、緊急に措置すべき補正予算案などを2議案提出され、各常任委員会で審査を行いました。審査結果について、委員長から報告された後、いざも可決されました。

補正予算の主な内容

総額585億4,800万円

1 感染症の拡大防止と医療体制の整備 102億5,791万円

【主な内訳】
・医療機関における患者の受け入れ環境整備や感染防止対策 8億222万円
・入院病床や軽症者等受入れ施設の確保 39億9,277万円
・休業要請に伴う感染症拡大防止協力金の交付 30億2,378万円

2 雇用の維持と事業の継続 477億8,967万円

【主な内訳】
・中小企業への資金繰り支援の強化 459億371万円
・雇用調整助成金に係る事業者の負担の更なる軽減 5億1,442万円
・前払利用券発行による飲食店支援 9億5,191万円

手話通訳導入を 報告、開始



6月常任委員会が
審査を実施

定例会に先立つ6月16日、障

がい者に向けた議会広報の充実

を図るために準備を進めてきた広

報委員会は、インターネット議

会中継への手話通訳開始につい

て正副議長に報告した。

6月23日の開会日から、イン

ターネット議会中継及び録画に

手話通訳者による手話通訳の映

像が挿入された。

7月2日、3日の2日間、6

常任委員会が、それぞれ所管す

る部局等に係る議案の審査等を

行った。新型コロナウイルス感

染症拡大防止対策により密集に

ならないよう委員間の距離を確

保した中で開催された。

7月6日、避難地域復興・創生

等対策(青木稔委員長)、災害に強

い県づくり(満山喜一委員長)、少

子高齢化・人口減少対策(宮下雅

志委員長)の3特別委員会が開催

され、8日閉会日の本会議で中

間報告を行った。

3 特別委員会を開催



6月25日、政務活動費検討会を開催

(満山喜一会長)を開き、令和元年度政務活動費収支報告書等について確認した。

34件の議案を可決

335億900万円の新型コロナウイルス感染症拡大防止等補正予算など



▲第一特別委員会室で本会議を視聴している様子

県議会の新型コロナウイルス感染防止対策

6月定例会は、5月臨時に引き続き、コロナウイルス感染症拡大防止のため本会議、委員会時のマスク着用や手指消毒の徹底に加え、演壇に飛沫感染防止のためアクリル衝立を設置し、一般質問の際は議員を二つのグループに分けて休憩に入替える、一席ずつ空けて着席するなどの対策を講じて開催された。議場に出席しない議員は、第一特別委員会室で本会議中継を視聴して審議を見守った。

トリチウムを含む処理水の取扱い

トリチウムを含む処理水の取扱いについて様々な意見が出されている中、どのように取り組んでいくのか、知事の考え方を尋ねる。

答弁 4月に開催された関係者の意見を伺う場で、処理水の取り扱いについて様々な意見が出されている中、どのように取り組んでいくのか、知事の考え方を尋ねる。

質疑 トリチウムを含む処理水の取扱いについて様々な意見が出されている中、どのように取り組んでいくのか、知事の考え方を尋ねる。

答弁 5月28日、代表者会議を開催し、令和2年6月に支給される議員の期末手当を20%減額することを、全会派一致で決定した。

質疑 5月28日、代表者会議を開催し、令和2年6月に支給される議員の期末手当を20%減額することを、全会派一致で決定した。

答弁 4月に開催された関係者の意見を伺う場で、処理水の取扱いについて様々な意見が出されている中、どのように取り組んでいくのか、知事の考え方を尋ねる。

質疑 5月28日